そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。９月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

災害の実態を踏まえた地域防災計画に

大沢　えみ子(日本共産党)

その他のテーマ
- ▶実効性のある避難所の指定を
- ▶台風被害のハザードマップを
- ▶減災に向けた具体的取り組み

◆災害時に市民への適切な情報提供を

①台風９号上陸の際、防災計画にない公民館が避難所に指定された。実態を踏まえ、必要な箇所を計画に位置づけ、市民に周知すべきでは。
②避難所での性的被害の防止策は。
③防災無線の更新(デジタル化)における難聴地域解消への具体策は。

市民部長 ①入曽、水野公民館などを今後避難所に指定する準備を進め、避難所開設時は、防災無線、広報車、ホームページ、モバイルサイト、エリアメール、ケーブルテレビなどのツールを活用して幅広く周知するよう努める。
②避難所運営会議には、女性に配慮した避難所運営を行うために、原則として複数の女性が参加するとともに、女性専用スペースの確保に配慮することとしている。必要に応じて、警察署による夜間パトロールの強化、避難所への女性警察官の配置などの対応を図りたい。
③29年度から33年度までの５か年で実施する予定で、難聴地域が発生しない屋外拡声子局の配置や高性能スピーカーなどの活用、各種メディアの利用なども検討している。

入曽地区の指定避難所(地域防災計画より)
入曽地区 地区人口 36054人、建物全壊 17・4棟、半壊 367・4棟、断水人口 2553人、避難者数 145人

指定緊急避難所	洪水	崖崩れ	地震	大規模火災	内水氾濫	収容可能人数計1131人
入間野小	○	○	○	○	○	137人
南小	○	○	○	○	○	175人
山王小	○	○	○	○	○	139人
御狩場小	○	○	○	○	○	137人
入間野中	○	○	○	○	○	154人
旧入間中	○	○	○	○	○	142人
山王中	○	○	○	○	○	168人
不老荘	○	○	○	○	○	79人
狭山体育園	×	×	○	○	×	－

旧中央公民館等跡地利活用で七夕通りの活性化に

猪股　嘉直　(日本共産党)

その他のテーマ
- ▶狭山市版ビジターセンターを
- ▶入間川、智光山などへの繋がり
- ▶入間基地の黒煙消火訓練

◆旧中央公民館等跡地の利活用

西口開発で達成できなかった七夕通りの活性化を、旧中央公民館等跡地の利活用で。

市長 民間事業者の優れたノウハウを生かして、商業店舗などの機能を備えたにぎわい施設と、若者ファミリー世帯をターゲットとした定住促進施設の立地を予定している。

旧中央公民館等跡地利活用を有効に

これにより新たな人の流れを創出し、その流れを入間川とことん活用プロジェクト事業で、にぎわいの形成が図られる入間川河川敷エリアとつなぐ。そうした人の回遊性を高めることで、七夕通り商店街の活性化にも資するよう取り組んでいきたい。

◆レンタサイクルの活用は

入間川、智光山公園などへ繋げるためにレンタサイクルを活用しては。

総合政策部長　今後、旧中央公民館等跡地の利活用や入間川とことん活用プロジェクトを進め、人々の回遊性の促進を図っていく中で、より広い範囲での施設間のつながりや連携を検討していきたい。

教育と医療の充実のために

千葉　良秋（創政会）

その他のテーマ
- ▶中学生学習支援事業
- ▶医療費の抑制

◆次期学習指導要領への対応

平成30年から実施される次期学習指導要領では、従来の学習方法から一歩踏み込み「アクティブラーニング(能動的学習)」を授業に取り入れるとあるが、具体的な取り組みは。

学校教育部長 アクティブラーニングが十分な効果を上げられるよう、児童生徒が意欲を持って

より主体的に学べる指導方法を収集し、日常の授業に生かしていく。県主催の研修に教員を参加させ、市の授業研究会を開催して、アクティブラーニングの効果を高める指導方法を広める。

◆確かな学力の定着

家庭学習の習慣化を図り、確かな学力の定着を実現するためのＰＤＣＡサイクルに基づく評価と改善は、どのように行われているか。

学校教育部長 参加生徒を対象に、家庭学習の習慣化や家庭学習時間のアンケート調査を実施した。ＰＤＣＡサイクルの活用では、このアンケート調査を今後も継続的に実施し、結果の分析や、成果を検証して、次年度への工夫、改善に取り組んでいく。

健康の維持増進を願う市民ニーズを活かして

三浦　和也（創政会）

その他のテーマ
- ▶公園などへ健康遊具の設置を
- ▶入曽駅前整備の進捗(ちょく)状況
- ▶入間中学校跡地利用計画など

◆健康寿命を伸ばすために、健康遊具の設置を

公園などへの健康遊具の設置を、高齢者支援施策としても位置づけて、積極的に進めてほしいが、市の見解は。

都市建設部長 筋肉のストレッチや身体のつぼを刺激するなど、主に健康維持に効果が期待できるので、少子高齢化の中、公園利用の促進と市民の健康増進に有効と考える。現在、７か所の公園に11基の健康遊具を設置しているが、高齢者などの利用にも配慮した公園を目指して、健康遊具の設置を関係課と調整を図る。

健康遊具

◆入曽駅前整備の進捗(ちょく)状況

市長就任後の約１年間で、どこまで進んだか。

市長 28年３月に、入曽駅と入間小学校跡地との動線確保のため、狭山茶業農業協同組合の敷地の一部取得の契約を締結。駅周辺の安全や利便性を高め、駅前広場の整備や駅周辺の活性化に資する民間施設誘導などの基本計画案作成のため、計画策定業務を支援する民間事業者を選定した。今後、地元関係者や鉄道事業者などと協議して、今年度中に計画案を取りまとめていく。

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、ＦＡＸまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。☎04-2953-11111 内線3313